

平成 30 年 3 月 16 日

「SBI AI&Blockchainファンド」への出資について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 寺門 一義）と足利銀行（頭取 松下 正直）は、SBIホールディングス株式会社（代表取締役執行役員社長 北尾 吉孝）の100%子会社であるSBIインベストメント株式会社（代表取締役執行役員社長 川島 克哉）が設立・運営する「SBI AI&Blockchainファンド」（名称：SBI AI&Blockchain 投資事業有限責任組合、以下、「本ファンド」）に出資いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

近年、スマートフォンの急速な普及や情報技術の高度化を背景としたデジタルイノベーションが進展する中で、金融機関においてもAI（人工知能）やブロックチェーン（分散型台帳）等の革新的な技術を活用した、新たな金融サービスの提供が期待されています。

本ファンドは、投資先企業の企業価値を向上させ、国内外の有望な企業との連携、最新の技術・サービスの実現を目指すものです。

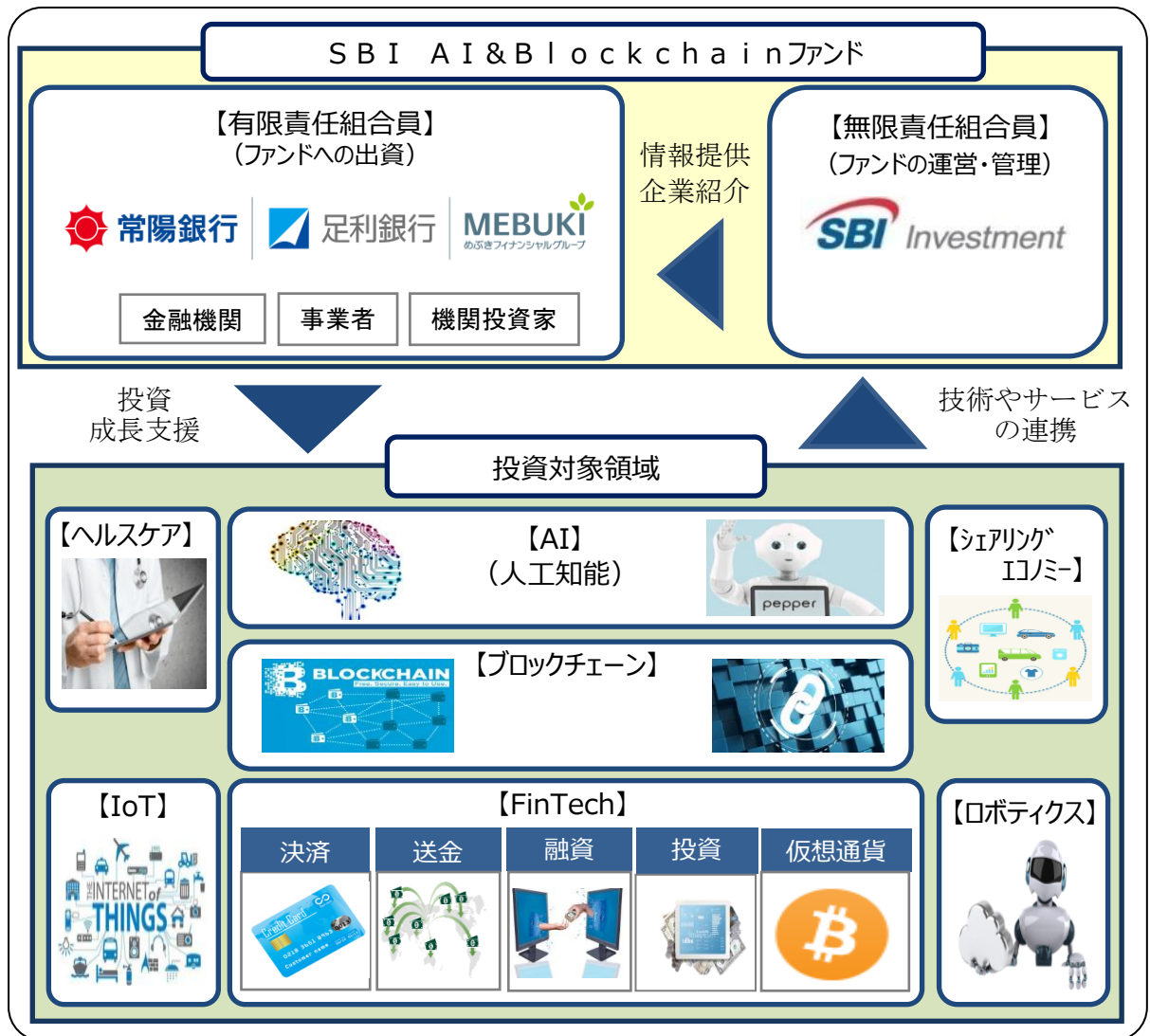
めぶきフィナンシャルグループ各社は、今後とも、お客さまのニーズにお応えし、利便性の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

記

1. 本ファンドの概要

ファンド名 (登記上の名称)	SBI AI&Blockchainファンド (SBI AI&Blockchain 投資事業有限責任組合)
目標出資総額	500億円
出 資 額	常陽銀行5億円、足利銀行5億円
投 資 対 象	AIやブロックチェーン技術とFinTech、IoT等市場成長期待の高い領域において独自性の高い技術サービスを保有し、将来性が見込まれる日本国内外の未公開企業の株式、新株予約権、新株予約権付社債等を投資対象とする。
設 立 時 期	平成30年1月
出 資 期 間	10年
無限責任組合員	SBIインベストメント株式会社

2. スキーム



以上